



地域でいきいきと輝くそんなステキ女性農家さんを応援します！

きらきら★NOOMUSP★
若いパワーで農業を盛り上げていきます

新年あけましておめでとうござい
ます。

今回お邪魔したのは、小倉南区大字三三(三岳地区)の合同会社清永ファーム。

ちょうど、お正月の疲れを癒すと言われてる春の七草が出荷の最盛期を迎え、合馬地区全体に活気がみなぎっていました。中でも、ステキな笑顔に目を輝かせていたのは「他の就職活動なんかより農業に携わっていることが楽しかったんです。農業は、日々発見の毎日で、楽しくて楽しくて、地元のスーパーの方に顔を覚えてもらってるのがやがやがいです。」と語る、昨年3月に北九州大学を卒業し、1年間の見習いを経て、7月からこの清永ファームに就職した西村佳那生さん(25歳)。

西村さんと清永ファームとの出会いは、西村さんが大学3年生の時。当時、地域創生学群に在籍していた西村さんは、合馬三岳地区でスタートした地元的女性農家の主婦達で立ち上げた「梅の里工房」に体験に行ったのがきっかけだそうです。その「梅の里工房」で活躍されていたおひとりの清永弘子さん(61歳)と出会い、西村さんは、農業の魅力にひかれていったと言います。島根県出身で実家は旅館、「田舎が好きで、ここ合馬に来るとほっとしました。農業が楽しくて、気が付くと学校のカリキュラムとは関係なしに清永さんが経営する清永ファームにアルバイトで通っていました。」

清永ファームは、典型的な都市近郊型農



左：清永弘子さん 右：西村佳那生さん

業で、本当の野菜の食文化を伝えたいと、高糖度の完熟野菜を研究しながら常時、旬の野菜を多品種生産し、物流、販売、顧客管理までを一括で行っています。

これから農家が生き残っていくためには、後継者問題の解決と成功事例の伝承が必要。そのためには、もつと生産と流通を拡大し、地域の雇用も発生させる必要があると、平成28年7月に法人化にふみきり、今年7月から地元大学生の常時雇用を始めたそうです。

「女性は365日お休みがなくて大変です。でも食はとつても大切。西村さんは、すごく頑張っていますよ。農業女子としては最強じゃないですか。」と語る清永夫妻は優しく温かい目で西村さんを見つめ、期待を寄せます。

「いつも野菜の様子
が気になるんです。
今後はトラクターの
運転ができるようにな
りたいですね。」
とこれからの抱負
を語った西村さん。
野菜は人と人をつ
なぐ触媒だと感じて
いると話す清永さん宅の作業所は、冬の寒
さにも負けず、人と人との温かな空気であ
ふれていました。

早春一番に芽吹き七草は、全てをこの合馬地区で生産し、今年も地区をあげて6〜7万パックの出荷を目指しているとのこと。七草を利用した七草粥は、邪気を払い無病息災を祈る縁起物と言われています。この7万パックには、西村さんのような若い希望に満ちた活力が込められており、さらなる開連食材として、

市民の皆様にも元気で
すてきな一年を
届けてくれるに違
いありません。



「第37回全国豊かな海づくり大会」が開催されました！



10月28日(土)と29日(日)の両日、宗像市をはじめ県内各地で「第37回全国豊かな海づくり大会～福岡大会」が開催されました。本市では、28日(土)、リーガロイヤルホテル小倉において、天皇皇后両陛下ご臨席のもと、歓迎レセプションが開催され、会場内の「北九州市の逸品」コーナーで本市が誇る藍島産天然アワビの鉄板焼きや、関門海峡タコ等の天ぷらを提供しました。また、関連行事として宗像ユリックス屋外広場の「豊かな海づくりフェスタ」や、福岡市天神中央公園の「海の幸グランプリ」において岩屋のアカモクや馬島のワカメ・長浜の関門海峡たこ等の販売・PRを行いました。

[29日に予定していた宗像ユリックス会場の関連行事は悪天候のため中止]

北九州市農林水産まつり開催されました



平成29年11月18日(土)、19日(日)の2日間で、秋の一大イベントである「第31回 北九州市農林水産まつり」が開催されました。二日間で、1万7千人の来場者があり、北九州市の旬の味覚を楽しんでもらいました。

【農業の先生を募集】

小学生を対象に、農作物の栽培指導や出前授業などをしてくださる方を探しています。ご興味のある方は、西部農政事務所(093-693-9912)まで。



総合農事センターからのお知らせ ●●●● 展示栽培実施中

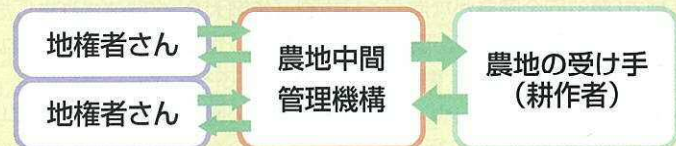
	品目	品種	は種・定植時期	収穫時期	栽培の内容	備考
野菜	ねぎ	ふゆわらべ	は種：7月11日 定植：11月4日	2月中旬	展示栽培	露地 新規就農研修用
	しゅんぎく	大葉しゅんぎく	定植：10月20日	12月～	展示栽培	施設 新規就農研修用
	しゅんぎく	小葉しゅんぎく	定植：10月20日	12月～	展示栽培	施設 新規就農研修用
	セルリー	トップセラ	定植：11月4日	1月中旬～	展示栽培	施設 新規就農研修用
	品目	品種	は種・定植時期	開花時期等	栽培の内容	備考
花き	ダイアンサス	ピンキーカジュアル 紫香の舞	定植：6月23日	11月～5月	展示栽培	施設 県育成の品種
	フリージア	ダイヤモンドスター オレンジーナ ゴールドゲートほか	定植：10月16日	3月～4月	展示栽培	施設
	キンギョソウ	カリヨン	は種：10月6日、13日 定植：11月21日	3月～5月	展示栽培	施設



個人相対の利用権は農地中間管理機構が便利です

毎回自分で手続きしていた農地貸借の更新や地代のお支払については、農地中間管理機構なら、まとめて簡素化できます。

機構なら、ばらばらの契約をまとまった形の貸し付けにできます。複数地権者でも、まとめて契約OK。



安心は今までどおり。事業メリットもいろいろあります。詳しくは機構の推進員がご説明いたします。農政事務所でお問い合わせください。

北九州市・福岡県・(公財)福岡県農業振興推進機構

